



# 調理場だより



令和7年度  
白鷹町学校給食  
共同調理場

やさい畑i-make様

27日(火)荒砥小産「はえぬき」80kgありがとうございます

お米の生産者は荒砥小学校5年生



荒砥小学校5年生が作ったお米を町内小中学校でいただきます。

古民具を使つての田植えや、収穫時期の秋雨の影響で泥だらけになつての稲刈りと、苦勞して収穫したお米です。この日は、ごはんの向こう側に荒砥小学校5年生のみなさんの姿を思いながら食べてほしいと思います。

学校給食にお米の提供をしていただいた「やさい畑i-make」の土屋さんよりメッセージをいただきました。町報2月号のちょうりじょうゆうびんに掲載しておりますのでぜひご覧ください。



## としだま お年玉はもちだった!?



しょうがつ ふだん にほんぶん か かん きかい おお  
お正月は、普段より日本文化を感じる機会が多かつたのではな  
いでしょうか。さて、子どもたちにとって、お正月の楽しみといえばお年玉。  
しんねん いわ おとな こ こづか わた ふうしゅう  
新年を祝つて、大人から子どもへお小遣いを渡す風習です。もともとは、お正  
がつ としがみさま としがみさま そな としがみさま おく もの  
月の「歳神様(年神様)」にお供えた「もち」を、歳神様からの贈り物として  
わ あた はじ としだま としがみさま たましい いみ  
分け与えたことが始まりとされ、「年玉」とは「歳神様の魂」を意味します。



## 給食では13日に「白玉餅のお雑煮風で」鏡開きです

がつ にち かがみびら ★ 1月11日は鏡開き (ちいき ちが (地域によって違いがあります))

かがみ ちい わ しるこ い むびょうそくさい ねが  
鏡もちを小さく割つてお汁粉などに入れ、無病息災を願つ  
た ぎょうじ ちい ほうちょう はもの  
て食べる行事です。もちを小さくするのに、包丁など刃物を  
つか ぶし せつぶく れんそう えんぎ わる  
使うのは武士の「切腹」を連想させるため縁起が悪いとされ、  
き て わ ひら  
木づちや手で割ります。また、「割る」ではなく「開く」とい  
えんぎ よ ことば つか  
う縁起の良い言葉が使われます。





## 12月の“おらほの食材”ありがとうございました

(キャベツ)紺野農園さん (たまねぎ)小松綾子さん (にんじん)ほっこり農園さん (白菜)紺野農園さん  
(小松菜)ほっこり農園さん (ごぼう)田中孝さん (だいこん)ほっこり農園さん (ねぎ)小形仁さん  
(じゃがいも)小松綾子さん (打ち豆)高橋昭吉さん (さといも)高橋晴美さん (おみ漬け)金田秀子さん  
(生しいたけ)船山裕介さん (中華麺)菊地製麺さん (納豆)白鷹納豆店さん

バイキング給食:(米)紺野農園さん (キャベツ)五十嵐千鶴子さん (ミニトマト)鈴木康太さん (りんご)衣袋庄三郎さん